

デジタルトランスフォーメーション(DX)って必要なの？

皆さんこんにちは。燕商工会議所会員の恩田です。

第五回目の今回は実際にDXに取り組んでいる企業様の事例を紹介したいと思います。


新潟県内にある製造業様の事例となりますが、製品・部品の検査工程において、検査結果（記録）の質であったり、検査に時間がかかるといった課題があり、品質向上・生産性向上に取り組みたいと思い始めました。これは製造業であれば、ほとんどの企業様が当てはまることかと思いますが、今回のケースでは、今まではデジタルノギスで計測した結果（数値）を目視で確認し、それを手書きで検査表に記入、その後、検査表をパソコンに入力して管理していました。これではせっかく正しく計測された数値でも①目視の際の見間違い②検査表に記入の際の書き間違い③パソコンに入力の際の入力ミス④そもそも検査結果を管理するだけでこれだけの手間（作業）が発生する。といったことをデジタルノギ

スのIoT化により見事に解決されました。

デジタルノギスのIoT化とは、デジタルノギスにパソコンと無線で通信できる通信機を取り付け、計測した結果（数値）をそのまま直接パソコンに送信し記録（入力）してしまうといった仕組みです。これにより①②③④が一気に改善でき品質向上・生産性向上に繋がりました。

いかがでしょうか？これなら簡単にできそうだな、ちょっと試してみたい。どんなものか実際に見てみたいと思いましたが、お気軽にお問い合わせ下さい。また、弊社サイト「DXビタミン21」にその他の事例も紹介していますので、ぜひご覧下さい。



DXビタミン21はこちら 

株式会社ウイング
県央R&Dオフィス 恩田 実